

計画の基本理念

子どもたちは将来の下野市を担う宝であり希望です。子どもたちの笑顔はかけがえのないものです。子どもたちの笑顔を守り、健やかな育ちを支えることは、保護者の幸せにつながっていきます。さまざまな家庭環境の中で、子どもたち一人ひとりの健やかな育ちのために、子育てをきめ細やかに支援していくことは、地域全体で取り組むべき最重要課題の一つです。

人づくりはまちづくり。子どもも大人も「このまちに住んでよかった、ここが我がふるさと」と思える下野市を目指します。

子どもたちが未来に向かって 健やかに育つまちづくり



計画の基本的視点

本計画の基本理念を具体的に推進していくため、以下の基本的な視点に基づき、各種施策や事業に取り組めます。

1 すべての子どもの幸せと成長

「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考えを基本に、社会的な支援の必要性が高い子どもやその家族を含め、一人ひとりの子どもが健やかに成長できること

2 安心できる子育て環境

妊娠・出産期からの切れ目ない支援をはじめ、ニーズに応じた乳幼児期の教育・保育事業を展開し、安心して子どもを産み育てられる子育て環境を提供すること

3 協働による子育てしやすいまちづくり

子育ての第一義的責任を有する保護者がもつ価値観を尊重しながら、市民・地域・行政が協働し、子育てしやすいまちづくりを推進すること

みんな笑顔で“しもつけっ子”を育てよう!

このプランは、子どもの保護者、市民公募委員、教育・保育施設関係者、学識経験者等から構成される市子ども・子育て会議（会長：伊崎純子白鷗大学准教授）で、平成25年9月から7回の会議を経てできあがりしました。

“しもつけっ子”。初めは言いづらくかもしれませんが、子どもたちは下野市の宝であり、市民・地域・行政が力を合わせて、下野市の子どもたちを育てていければという委員の思いが詰まっています。